

ともしび通信

発行：NPO法人没イ手の会・京都



みんなで歌おう!

軒下の窓辺に、アサガオの花が咲いています

東京にて パート4



博打・酒・女、まるでヤクザ映画のような表題ですが、私の生活はそんなことにとどっぷり浸っていました。

「博打」 仕事はそれなりに台数を売っていましたが、会社からは何も言われることはありませんでしたが、東京に大井というところがあります。そこで月に10日ほどオートレースが開催され、1レースに6台のオートバイが走りその1着、2着を当てるのですが、自動車のセールスは皆このオートレースが好きで、開催されている日は新車のセールス、中古車のセールスが朝「行ってきまーす」と会社を出かけると集まるのが大井オートレース場でした。ものすごい爆音を立て走るオ

ートバイに皆胸を躍らせて、自分の賭けたオートバイを応援するのですが、儲かるときもあります。トータルするとマイナスです。それでも面白くて毎回行っていました。上司も知っていました。があまりうるさくは言わないので、それに甘えてサボって博打をしていました。

「酒」と「女」 毎晩のように山崎くんのバーで飲んで食事をして、その女の子をからかって、夜遅くまで遊んでいました。たまに部下を連れてキャバレーに行きましたね。ある日いつものキャバレーで指名していた娘が休みで、初めてついた娘が水商売初めてという昼間はOLを

しているという娘が付きましました。私はその娘が直ぐに気に入るんだかんだ

と云って翌日の昼間のデートを約束させて、ドライブに行きました。その日は何もしないで帰したのですが2〜3回のデートの後ホテルにその娘を誘い男女の中になりました。少し私も好きになってい

ましたが、どうしてもそれ以上には発展できず、やはり洋子の影を引きずっているのかと思ひ彼女に悪いので、別れてしまいました。主に女性といえば車を売ったお客さんに誘惑されることが多いですね。ある一流企業のOLで30歳を少し過ぎた、当時ではオールドミスと言われる年齢の人に結婚を申し込まれたこともありま

した。そんな目的もない毎日、仏教はどこに行ったのか？ 乱れた独身生活を山崎くんも心配して、自分も

独身のくせに私に「カゴさんもう一度結婚したら？」と勧めてくれるのですが、本人は一向にその気にな

れず、ズルズルと無駄な毎日を過ごしていました。ああ私はどうなるのか、このままではいけないと思いつつ過ぎていく毎日、充実感がありませんでした。27歳にもなって自分の進むべき道が見つかりません。博打も、酒も、女も、空蟬の中の出来事、これではいけない何かを捕まえないと、離婚がこんなに傷つくものなのかと。私は十数人の女性と付き合いました。一向に結婚したいという事にはならない日々を送っていました。

そんな時大阪の兄から電話がありました。兄は私より一回り上で、(株)リコーの大阪支店の経理課で課長をしていました。私は大学を中退して家出同然で東京に出て来ていますので、私の生活について詳しく知りませんでした。ただ風のうわさで離婚した事は知っているよう

でした。

「弘大阪に来ないか？」 「大阪に？ 何しに」 「リコーが教育機器を発明して、新会社を立て上げたのでそこで社員を募集しているのだよ、営業マンがほしいらしいのでお前も東京でひとりでぶらぶらしないで、おふくろも心配しているから、大阪に来ないか」

「その教育機器ってどんな物？」 「まあ詳しくは大阪の支店長が近々東京本社に行くとのことだからお前がその気があれば一度面接してもらったらどうか」 「うん、一度考えさせたくれる」 「ああしかし社員が決まってしまえば募集はなくなるので、返事は早いほうが良いなあ」

「支店長さんはいつ来るの？」 「来月の3日だそう」 「後10日後か、分か



籠谷 弘

った、とりあえず合うだけ逢ってみるか」そうか、では支店長の都合を聞いて又連絡する」リコーと言えば一部上場企業、そんな会社に途中から入れるのか？少し不安でもありましたが、兄の紹介ですからまんざら嘘ではないと思いつ事を待つ事にしました。
数日後兄から「来月3日に日本橋の本社で午前10時に面接してくれることになったから、履歴書と身上書を持って行くように」と連絡があり、私は面接だけでも受けてみるかと軽い気持ちで3日を待ちました。私の人生の最大の上司に会うことになるのですが、どうなるのか次回で……

「歌声喫茶の指揮・演奏を」

歌声喫茶に参加のみなさんいつも楽しい時間を共有できることはうれしい限りです。
私の歌声喫茶歴は学生時代から始まり50年になります。この間、ずっとアコーディオン伴奏専門です。
以前は大阪にも京都にも歌声喫茶専門店がありました。今はそれらもなくなりました。
しかしながら、アマチュア合唱団や地域サークル主催の歌声喫茶は、京都府下や全国で延々と続いており、その歴史は70年にもなります。みんなが一堂に会して歌集を手に好きな歌を大きな声や小さな声で歌える場が、あちこちで開かれることは、心が癒され、生活の励みにもなります。
私も体力が続く限り、アコーディオンかっいでどこへでも行きますので、これからもよろしく、一緒に歌い交わしましょう。

阿部克明



盛永由乃

うたごえの魅力は、共に歌って繋がることだと思います。
歌は、直接その人の心に訴えかけて、寄り添ってくれます。とりわけ自分が元気で若かった頃の歌は、思い出とともに、元気にしてくれます。
一時ですが、みんな音楽を共有しながら、喜んで歌って頂き、適度に笑って頂いて、満足して帰って頂きたい。僭越ながら、そう思いながら毎回ここに来ています。
今後とも、よろしくお願ひします。

歌声喫茶 9月の予定

「西院」(第2、4木曜日)

9月 9日、23日

「洛西」(第1、3木曜日)

9月 2日、16日

楽々亭第12回8月の予定

8月17日(火)

西京区役所洛西支所会議室

午前10時～12時



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町1丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。